

# 竣工引継図書作成要領

## 1. 引継図書

- ① 工事竣工引継書
- ② 工事竣工引継調書
- ③ 引取願書
- ④ 竣工図(A1、B4版白焼)
- ⑤ 接続柵番号一覧表
- ⑥ 取付管・本管の承諾書
- ⑦ 公共下水道設置承諾箇所平面図

## 2. 竣工図の書き方

### 1) 竣工図面に記載する項目(別紙参照)

- ① 案内図
- ② 系統図

新設管きよ、既設管きよ、計画管きよ、マンホール番号、路線番号等を記入する。

- ③ 公図写
- ④ 土地所有者一覧表
- ⑤ 排水平面図

(1) 路線番号、管径、マンホール間距離、マンホール番号、道路幅員及び本管占用位置、取付管整理番号及び承諾者氏名、取付管距離、取付管土被り、自費取付管設置取付管共同使用を記入する。

(2) (1)について記入する文字、数字はなるべく大きなものを使用する。文字については7.0mm以上、数字については3.5mm以上。(B4版の縮小で文字、数字が潰れるものは不可。文字、数字等の記入に際し現況の図柄と重なってしまう場合は現況の図柄を消す)

(3) 取付管距離の測定位置は官民境界とし、上流マンホールから本管と直角に計測し、10cm単位で、L=00.0と記入する。(取付管全部について)

(4) 取付管の土被りは官民境界で計測し、1cm単位で、DP=0.00と記入する。(取付管全部について)

(5) 接続柵は道路(水路等含む)との境界より1m以内に設置し、柵深さを記入する。

(6) 取付管の承諾者氏名は承諾書の氏名と同一の氏名を記入する。

(7) 雨水取付管も水循環部水再生施設課で管理する場合は、汚水取付管と同様に計測し記入する。

(8) 使用する水準点の略図、標高を記入する。

### ⑥ 排水縦断図

(1) マンホール番号及び種別、マンホール深さ、マンホール間距離、勾配、路線番号、管種管径、地盤高、土被り、管底高、追加距離を記入する。

(2) (1)について記入する文字、数字はなるべく大きなものを使用する。文字については7.0mm以上、数字については3.5mm以上。(B4版の縮小で文字、数字が潰れるものは不可)

(3) マンホール深さ、土被り、管底高は上下流両端とも記入する。

(4) 地盤高は測量結果表(B)の蓋受地盤高を記入する。

(5) 勾配はマンホール間毎の成果を記入する。

(6) 数値の丸めは下記のとおりとする。

i) マンホール深さ(上下)

少数第4位四捨五入

ii) マンホール間距離

少数第3位切り捨て

iii) 勾配

少数第2位四捨五入

iv) 地盤高

少数第4位切り捨て

v) 土被り

少数第3位四捨五入

vi) 管底高

少数第4位切り捨て

(7) 管底高、地盤高は国家水準点を使用すること。任意の高さは不可。

⑦タイトル版

⑧接続柵番号一覧表